

i-PRO

取扱説明書 設置編

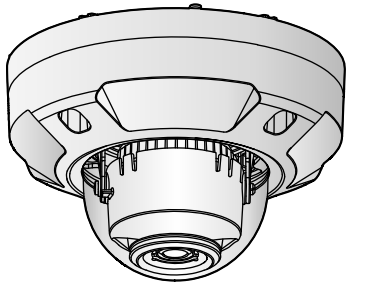
工事説明付き

ネットワークカメラ


業務用

品番 **WV-U2542LA** **屋外監視用**

WV-U2532LA **屋外監視用**



WV-U2542LA

<p>取扱説明書について</p> <p>本機の取扱説明書は以下のような構成になっています。</p> <ul style="list-style-type: none">取扱説明書 設置編（本書）： <ul style="list-style-type: none">本機の安全上のご注意、設置上のお願ひ、設置方法について記載しています。 取扱説明書 基本編（下記ウェブサイトのリンク先を参照してください）：本機の使用上のお願ひ、詳細仕様について記載しています。 取扱説明書 操作・設定編（下記ウェブサイトのリンク先を参照してください）：本機の操作や設定方法について記載しています。 <p>https://i-pro.com/jp/ja/support_portal</p>	
---	---

取扱説明書に記載されている「<管理番号：Cxxxx>」は、以下の弊社技術情報ウェブサイトで該当する情報を検索する際に使用する番号です。

https://i-pro.com/jp/ja/support_portal/technical_information



このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。**
- microSDXC/microSDHC/microSDメモリーカードをmicroSDメモリーカードと表記しています。
- 製品の改良などにより、ご使用上影響のない範囲で、記載されている外観などが実際の製品と異なる場合があります。

i-PRO株式会社

https://www.i-pro.com/

<p>© i-PRO Co., Ltd. 2022</p>	<p>*PGOX2658ZA*</p> 	<p>avs0922-0</p> <p>Printed in China</p>
-------------------------------	--	--

保証とアフターサービス よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い求め先へ ご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

<p>販売店名</p> <p>電 話 () - お買い上げ日 年 月 日</p>	<p>●製品名 ネットワークカメラ</p> <p>●品 番 WV-U2542LA、WV-U2532LA</p> <p>●故障の状況 できるだけ具体的に</p>
<p>「故障かな!?」で確認のあと、直らないときは、まず電源を切って、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。</p>	


i-PRO製品の「お問い合わせ」および「保証制度」については、以下の弊社サポートウェブサイトを参照してください。
https://i-pro.com/jp/ja/support_portal



アフターサービスについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店または保証書表面に記載されています連絡先へお問い合わせください。

※「日本エリア」でお使いの場合に限ります。日本以外でお使いの場合のサービスはいたしかねます。

<p>注意：</p> <ul style="list-style-type: none">外部施設からの屋外引き込みケーブルが直接接続されているネットワークに、本機を接続しないでください。 本機に電源スイッチはありません。この製品に電力を供給する機器の主電源を遮断できるように、ブレーカーなどの遮断デバイスを必ず設置してください。 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。	<p>注記：</p> <ul style="list-style-type: none">この機器は子供がいる可能性のある場所での使用には適していません。 一般の人が容易に触れることができる場所への設置はしないでください。 本機は業務用機器です。 設置に必要なねじやそのほかの部材などの情報については本書の該当部分を参照してください。
	<p>：直流電源記号</p>

安全上のご注意 必ずお守りください






人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。		注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。
---	-----------	-----------------------	---	-----------	----------------------------------

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

	してはいけない内容です。		実行しなければならぬ内容です。
---	--------------	---	-----------------

	警告	
	禁止	<ul style="list-style-type: none">異物を入れない（水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。）⇒直ちに電源を切り、販売店に連絡してください。 可燃性ガスの雰囲気の中で使用しない（爆発によるけがの原因となります。） 塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない（取付部が劣化し、落下によるけがや事故の原因となります。） 落とさない、強い衝撃を与えない（けがや火災の原因となります。） microSDメモリーカードは、乳幼児の手の届く所に置かない（誤って飲み込むおそれがあります。）⇒万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。 ぶら下からない、足場代わりにしない（けがや事故の原因となります。） 風が強い場所に設置しない（風速60 m/s以上の風が強い場所に設置すると、落下などでけがや事故の原因となります。） 高圧洗浄機などで本機の防水性能を超える水をかけない（浸水による火災や感電の原因となります。）
	分解禁止	<ul style="list-style-type: none">分解しない、改造しない（火災や感電の原因となります。）⇒修理や点検は、販売店に依頼してください。
	接触禁止	<ul style="list-style-type: none">雷が鳴りだしたら、本機や接続したケーブルに触れない（工事時を含む）（感電の原因となります。）
	注意	<ul style="list-style-type: none">工事は販売店に依頼する（工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。）⇒必ず販売店に依頼してください。 異常があるときは、すぐ使用をやめる（煙が出る、においがする、外部が劣化するなど、そのまま使用すると火災・落下によるけが、器物損壊の原因となります。）⇒放置せずに、直ちに電源を切り、販売店に連絡してください。 総質量に耐える場所に取り付ける（落下や転倒によるけがや事故の原因となります。）⇒十分な強度に補強してから取り付けてください。 定期的に点検する（金具やねじがさびると、落下によるけがや事故の原因となります。）⇒点検は、販売店に依頼してください。 ねじやボルトは指定されたトルクで締め付ける（落下によるけがや事故の原因となります。） 人がぶつからない高さに取り付ける（けがの原因となります。） 振動のないところに設置する（取付ねじやボルトがゆるみ、落下などでけがや事故の原因となります。） 防雪対策を施す（雪の重みで落下によるけがや事故の原因となります。）⇒ひさしなどで防雪してください。 設置の説明にしたがって設置面にしっかり取り付ける（けがや事故の原因となります。）

オープンソースソフトウェアについて

- 本製品にはGNU General Public License（GPL）、GNU Lesser General Public License（LGPL）その他のに基づきライセンスされるオープンソースソフトウェアが含まれています。
- お客様は、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPLまたはLGPLに従ひ、複製、頒布および改変できます。
- オープンソースソフトウェアのライセンスやソースコードに関する詳細は、本機の設定メニューの「サポート」ページの「本製品で使用しているOSSについては、こちらを参照ください。」をクリックして、表示される内容をお読みください。
- なお、ソースコードの内容などについてのご質問にはお答えしかねますので、あらかじめご了承ください。

著作権について

GPL/LGPLその他に基づきライセンスされるオープンソースソフトウェアを除き、本製品に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリングは禁じられています。また、本製品に含まれるすべてのソフトウェアの輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。

個人情報の保護について

本機を使用したシステムで撮影された本人が判別できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します^{*}。法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。
※ 個人情報保護委員会の「個人情報の保護に関する法律についてのガイドライン（通知編）」における【個人情報に該当する事例】を参照してください。

商標および登録商標について

- Microsoft、Windows、Windows Media、Microsoft EdgeおよびActiveXは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Intel、Intel Coreは、アメリカ合衆国および／またはその他の国における Intel Corporationまたはその子会社の商標です。
- Adobe、Acrobat ReaderおよびAdobe ReaderはAdobeの商標です。
- microSDXCロゴはSD-3C、LLCの商標です。
- iPad、iPhoneは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
- AndroidおよびGoogle Chromeは Google LLC の商標です。
- Firefoxは、米国およびその他の国における Mozilla Foundation の商標です。
- QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- その他、この説明書に記載されている会社名・商品名は、各会社の商標または登録商標です。

設置上のお願ひ

取扱説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、弊社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■ 設置工事は電気設備技術基準に従って実施してください。

本機の設置・接続を始める前に必要な周辺機器やケーブルを確認し、準備してください。接続する前に、本機、PCなど接続する機器の電源を切ってください。

■ 傷害防止のため、この機器は、設置の説明に従って設置面にしっかりと取り付ける必要があります。

- 本機の取付場所について**設置場所はお買い上げの販売店とよくご相談のうえ、丈夫な壁面や天井面などをよく選んで設置してください。●強度が十分ある天井（コンクリート天井など）に取り付けてください。
- 建築物の基礎部分、または十分な強度がある部分に設置してください。
- 石こうボードや木部は強度が弱いので取り付けしないでください。やむを得ず取り付ける場合は、十分な補強を施してください。

■ 以下のような場所での設置および使用はできません

- フールなど、薬剤を使用する場所
- ちゅう房などの蒸気や油分の多い場所
- 溶剤および可燃性雰囲気などの特殊環境の発生する場所
- 放射線やX線、および強力な電波や磁気が発生する場所

- 海上や海岸通り、および火山地帯・温泉地などの腐食性ガスが発生する場所
- 使用温度範囲を超える場所
- 車庫、船舶や工場ライン上などの振動の多い場所（本機は車載用ではありません）
- エアコンの室外機付近など、急激に温度が変化する場所（ドームカバーが曇ったり、結露したりする場合があります）
- 硫黄を含むゴム製品（パッキンやゴム足など）が近くにある場所
- 取付ねじの締め付けについて**インパクトドライバーは使用しないでください。ねじが破損したり締め付けずたりします。
- 外光や赤外線照明の反射について**外光の入射角によって、画面にゴーストが現れることがあります。また赤外線照明を使用する場合、本機を壁面などの近くに設置すると、赤外線が反射して画面の一部または全体が白っぽく見えることがあります。
- 画像事例と対処の方法については弊社技術情報ウェブサイト<管理番号：C0109>を参照してください。

■ 湿度に注意してください

本機の設置は、湿度の低いときに行ってください。降雨時や湿度の高いときに設置を行うと、内部に湿気がたまりドームカバー内が曇ることがあります。

■ 雷に対する保護についてケーブル類を屋外で引き回す場合は、雷の影響を受けることがあります。その場合は、本機のすぐ近くに避雷器を設置し、雷の影響を受けないように、本機と避雷器間のネットワークケーブル長をできるだけ短くなるように配線してください。

■ ノイズ障害が考えられる場合

テレビやラジオの送信アンテナからの強い電界、モーターやトランス、AC100 V以上の電力線（電灯線）からの強い電界・磁界の近くでは、映像や音声にノイズが入ったりすることがあります。1 m以上離して配線工事を行うか、金属管による配管工事を行ってください（金属管は必ずアースを接続してください）。

■ 本機を使用しなくなった場合は放置せず、必ず撤去してください。

■ 本機に電源スイッチはありません

電源を切る場合は、PoE給電装置の電源をOFFにしてください。

■ 電池について

本機は内部に電池が組み込まれています。電池は、日光、火などにより過度の熱にさらされる環境に放置しないでください。

■ 本機の識別および定格表示について本機の識別および電源、その他の表示は本機の底面銘板をお読みください。

■ VCCIについて

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

故障かな!?
修理を依頼される前に、「取扱説明書 基本編」、「取扱説明書 操作・設定編」の「故障かな!？」で症状を確かめてください。

仕様（詳細については「取扱説明書 基本編」をお読みください）	
電源 ^{*1}	PoE（IEEE802.3af準拠）
消費電力 ^{*1}	<WV-U2542LA> PoE DC 48 V：150 mA／約7.2 W（クラス0機器）<WV-U2532LA> PoE DC 48 V：140 mA／約6.7 W（クラス0機器）
使用環境	使用温度範囲 −30℃～+50℃（電源投入時：−20℃～+50℃） 使用湿度範囲 10％～100％（結露しないこと）
保存環境	保存温度範囲 −30℃～+60℃ 保存湿度範囲 10％～95％（結露しないこと）
防水性 ^{*2}	IP66（IEC 60529、JIS C 0920）、Type 4X(UL50E)、NEMA 4X準拠
耐衝撃性	IK10（IEC 62262）
耐風速条件	風速40 m/s 以下
寸法	最大径 ：ø154 mm/ 高さ ：103 mm/ ドーム径 ：42 mm
質量	約1.0 kg
仕上げ	本体 ：アルミダイカスト/PC樹脂 i-PRO ホワイト 外郭ねじ ：ステンレス（耐食処理） ドームカバー ：PC樹脂 クリア
その他	いたずら防止構造 ^{*3}

※1 本機の電源に関する情報については、サポートウェブサイト<管理番号：C0106>を参照してください。

※2 取扱説明書に従い設置工事が正しく行われ、かつ適切な防水処理が行われた場合のみ。

※3 設置完了後、触ることができるねじが、通常のドライバーでは開閉できないような構造を持っているもの。

別売り^{*1}

吊り下げ金具：	WV-QSR501
ベース金具：	WV-QJB501
ドームカバー（スモークタイプ）：	WV-CW7SUX
ドームカバー（スモークタイプ・アドバンスド親水コート）：	WV-CW7SNUX




※1 別売品の最新情報については、弊社技術情報ウェブサイト<管理番号：C0501>を参照してください。

取扱説明書 設置編（本書）.....1冊	コードラベル ^{*1}1枚	1枚
※1 ネットワーク工事に、必要になる場合があります。紛失しないようご注意ください。		

以下の部品は取付工事に使用します。

アタッチメント金具.....1個	RJ45防水コネクターカーバー.....1個
アタッチメント固定ねじ（M4×8 mm）.....5本	RJ45防水コネクタークャップ.....1個
	ビット（六角対辺6.35 mm T20）.....1個
型紙A（アタッチメント金具用）.....1枚	管接続アタッチメント.....1個
ケーブルカバー ^{*2}1個	PANテーブル固定ねじ.....1本

※2 ケーブルカバーはカメラ本体に装着されています。

付属品以外に必要なもの			
●固定用ねじ			
	取付方法	推奨ねじ ^{*1}	最低引抜強度 ^{*2}
	設置面（天井または壁面）に直接取り付ける	M4×16 mm ^{*3} /4本	724 N {74 kgf}
	2コ用スイッチボックス（金属製）に取り付ける	M4 ^{*4} /4本	724 N {74 kgf}
	WV-QJB501（別売り）に取り付ける	M4/4本（WV-QJB501の付属品）	1.37 N・m {14 kgf・cm}
別売りの金具を使って取り付ける場合	各取付金具の取扱説明書参照		

※1 ねじの種類は取付場所の材質に合わせて選択してください。木ねじ、くざいは使用しないでください。
※2 最低引抜強度の考え方については弊社技術情報ウェブサイト<管理番号：C0120>を参照してください。

※3 ねじの長さは厚さ20 mm以上の堅牢な設置面に設置する場合の例です。

※4 外径ø7.5 mm～ø10 mmの平ワッシャー付きかつスプリングワッシャー付きM4ねじを用意してください。ねじの長さについてはスイッチボックスの仕様に合わせて決めてください。

- RJ45プラグ、Ethernetケーブル(カテゴリー5e以上、ストレート、4対（8芯）)
- 工具

各部の名前

【全体】 WV-QJB501 (別売品) アタッチメント金具 (付属品) カメラ本体 エンクロージャー

ドームカバー

接続管用配線口 接続管アタッチメント カメラ固定ねじ 傾き調整リング

【カメラ本体】 取付方向指示マーカ(↑ TOP) ●壁取り付けのときは上側となります。 PANテーブル固定ねじ穴 防水ゴム

microSDのシンボル microSDスロット

MEMO ●FRONTがカメラの正面(i-PROロゴ側)となります。

取付方向指示マーカ(FRONT ↓) ●画面下側方向となります。

ACTランプ LINKランプ WIDEボタン TELEボタン INITIAL SETボタン(初期化)

【カメラ本体(底面)】 MEMO ●天井または壁にケーブルを露出配線するときは、ケーブルカバーをはずして側面からケーブルが出るようにしてください。

ケーブルカバー

■ランプ

MEMO ●ランプの点灯/点滅はソフトウェアの設定で常時消灯にすることができます(初期状態は点灯および点滅)。設定については「取扱説明書 操作・設定編」をお読みください。

LINKランプ	接続機器と通信可能になったとき	橙点灯
ACTランプ	カメラがデータ送受信時	緑点滅(アクセス中)

■ボタン

INITIAL SETボタン(初期化ボタン) 本機を初期化する場合は、以下の手順で実施してください。正常に起動しない場合は、もう一度やり直してください。

電源を切る → ボタンを押しながら電源を入れる* (15秒) → ボタンを必ず離す (約2分) → 本機が起動して、ネットワーク設定データを含む設定が初期化される

*初期化中は電源を切らないでください。正しく初期化されない場合や故障の原因になる場合があります。

TELEボタン ボタンを押すと、ズーム(倍率)を「望遠」方向に調整します。

WIDEボタン ボタンを押すと、ズーム(倍率)を「広角」方向に調整します。

Step3 ケーブルを接続する

重要

- 本機に電力を供給できるデバイスは、PoEハブまたはPoE給電装置です。
- ケーブルを接続する前にシステムの電源を切断しておいてください。

RJ45 ネットワークケーブル 外径:φ5mm~φ6.5mm

RJ45防水ジャック RJ45防水コネクタージャック(別途調達) RJ45防水コネクタージャック(付属品) RJ45防水コネクタージャック(付属品) Ethernetケーブル(カテゴリ5e以上、ストレート、4対(8芯))

100m未満

配線してかしめる RJ45プラグを押し込む 「>」と「<」を合わせ「<>」まで回す 隙間が無くなるまで締める

重要

- RJ45防水コネクタ部分は、常に雨や水がかかる場所に設置しないでください。
- RJ45防水コネクタを外す場合は、必ず組み立て逆の手順で外してください。
- Ethernetケーブルを再接続するときは、2秒以上の間隔をあけてください。素早く抜き差しすると、PoE給電装置から電源が供給されない場合があります。

Step4 カメラを固定する

【1】アタッチメント取付ねじ(2か所)をアタッチメント金具の穴へ差し込み、約15°回転させ仮固定する。

アタッチメント取付ねじ アタッチメント金具の爪 アタッチメント金具の穴(4か所)

①アタッチメント金具の爪位置と「OPEN」マークを合わせて差し込む。アタッチメント金具の爪位置

②アタッチメント金具の爪位置と「LOCK」マークが合うまで回す(約15°回転)。

LOCK OPEN LOCK OPEN 「OPEN」マーク 「LOCK」マーク

【2】ビット(付属品)を使ってエンクロージャー固定ねじ(4本)を緩め、エンクロージャーを本機より取り外す。

カメラ固定ねじ(赤色) 推奨締付トルク:0.78N・m(18kgf・cm)

設置補助ワイヤー

重要

- カメラ本体から設置補助ワイヤーを外さないでください。

ビット(付属品) エンクロージャー固定ねじ(4本)

Step5 調整する

【1】カメラの電源を入れる。

【2】弊社技術情報ウェブサイトの「IP簡単設定ソフトウェア」<管理番号:CO123>または「i-PRO設定ツール(ICT)」<管理番号:CO133>をダウンロードして起動し、ネットワークに接続する。

【3】カメラの向きを調整する。

①TILT固定ねじを緩めます。

②ネットワーク上のPC画面を見ながら、水平(PAN)角、垂直(TILT)角、傾き(YAW)角を調整します。

チルト固定ねじ 傾き(YAW)調整リング 水平(PAN)角

水平(PAN)角: -75° ~ +285°
垂直(TILT)角: -30° ~ +85°
傾き(YAW)角: ±100°

重要

- カメラを壁に取り付けた場合、画像は上下が逆になっています。設定メニューの「画像回転」を「180°(上下反転)」に設定することで、カメラから表示される画像を反転させることができます。設定メニューの「画像回転」の設定については、「取扱説明書 操作・設定編」を参照してください。
- 垂直角をカメラレンズが水平に近い位置(75度以上)にした場合、画像の一部が二重に見えたり、夜間の撮影時にIR LED Lightの反射が画面上に見えたりすることがあります。このような場合は、垂直角を小さくしたりズーム倍率を調整したりしてください。
- カメラを調整するときは、IR LEDシートを指で触らないでください。

③方向を調整したあと、チルト固定ねじとパンテーブル固定ねじを締め、カメラ部分を固定します。推奨締付トルク:0.59N・m(16kgf・cm)

【4】カメラの画角を調整する。

画面を見ながら、TELEボタンとWIDEボタンで画角を調整します。

傾き(YAW)角 垂直(TILT)角 IR LEDシート WIDEボタン TELEボタン

【5】エンクロージャーを取り付け、ビット(付属品)を使ってエンクロージャー固定ねじを締めて固定する。

①i-PROロゴの方向を取り付け方向マーカ(FRONT ↓)に合わせてます。

②エンクロージャーの凹面をカメラ本体の凸部に合わせてエンクロージャーを取り付けます(2か所)。

③ビット(付属品)を使用してエンクロージャー固定ネジ(4か所)を締めてエンクロージャーを固定します。推奨締付トルク:0.78N・m(10.58lbf・ft)

重要

- カメラ本体周囲の溝に取り付けている防水ゴムが、溝から外れていないことを確認して、エンクロージャーを取り付けてください。

MEMO ●エンクロージャーを取り付けるとき、カメラの向きが変わらないように、あらかじめエンクロージャー固定ねじの位置を合わせておいて設置面に対してまっすぐ取り付けてください。カメラの向きが変わってしまう場合は、付属のPANテーブル固定ねじをPANテーブル固定ねじ穴(「各部の名前」を参照してください)に挿入して締めて固定してください。推奨締付トルク:0.59N・m(16kgf・cm)

取付方向指示マーカ(FRONT ↓) 防水ゴム カメラ本体の凸部(2か所) ビット(付属品) エンクロージャーの凹部(2か所) エンクロージャー固定ねじ(4か所) ドームカバー

Step2 カメラの設置面を加工する(取付タイプに合わせて加工する)

共通

- アタッチメント金具(付属品)は刻印(品番)が、設置する天井、壁側を向くように取り付けてください。
- ケーブルを露出配線する場合は、必ず接続管を使用して、ケーブルに直射日光が当たらないようにしてください。

重要

- 接続した接続管を通して建物など接続先に水が浸入しないように、防水処理をしてください。

2コ用スイッチボックス

アタッチメント金具(付属品)

取付ねじ(4本)(M4:現地調達)

ケーブル通し穴 φ25.4mmまたはφ72mm

管接続アタッチメント固定用ねじ穴(2か所)

93mm

116.5mm

固定用ねじ穴(4か所)

83.5mm

46mm

管接続アタッチメントを使用しない場合は、型紙Aの点線部分を切り取ってください。

QJB501

【1】型紙B(WV-QJB501付属品)を使って設置面に穴をあける。(ねじ穴4か所/ケーブル通し穴*1か所) ※接続管使用時はケーブル通し穴は不要です。

ケーブル通し穴 25.4mm

●天井や壁面の状態によって6通りのねじ位置で固定できます。以下の表から選択して穴をあけてください。

	縦	横
A	85mm(85.7mm)	85mm(85.7mm)
B	138mm	138mm
C	83.5mm	46mm
D	63mm	63mm
E*	-	83.5mm
F	70mm	108.5mm

*1コ用スイッチボックスに取り付ける場合、取付ねじ2本(M4:現地調達)で固定。

- ケーブル通し穴2か所のどちらかを選んで工事してください。
- カメラの取り付け方向は、アタッチメント金具取り付け後、90°単位で変更できます。

ケーブル通し穴 25.4mm

ケーブル通し穴 25.4mm

接続管ケーブル通し穴位置

接続管使用時

接続管用ねじキャップを5mm六角レンチで取り外し、接続管を取り付ける。

接続管用ねじキャップ 接続管

WV-QJB501

【2】設置面にWV-QJB501を取り付ける。

【3】WV-QJB501にアタッチメント金具を取り付ける。

取付ねじ(4本)(M4:現地調達) 最低引抜強度:196N(20kgf)/1本

アタッチメント金具(付属品)

アタッチメント固定ねじ(4本)(M4×8mm:付属品) (推奨締付トルク:0.78N・m(18kgf・cm))

microSDメモリーカードの取り付け・取り外し

■microSDメモリーカードを取り付ける

①カメラよりエンクロージャーを取り外します。

②microSDメモリーカードをmicroSDスロットの奥まで入るように押し込み、カッチと音がすることを確認します。

MEMO microSDスロットの表面(microSDのシンボルと同じ面)より飛び出していないことを確認してください。

③エンクロージャーをもとの位置に取り付けます。

microSDメモリーカード microSDメモリーカードの先端 microSDメモリーカードの後端

microSDのシンボル microSDスロット

■microSDメモリーカードを取り外す場合

取り外す場合は、取り付けと逆の手順で取り外してください。

①エンクロージャーを取り外します。

②microSDメモリーカードを音がするまで押し、飛び出さないように指で押さえながら、microSDスロットから取り外します。

③エンクロージャーを再度取り付けます。

重要

- microSDメモリーカードを取り外すときは、必ず設定メニューの[SDメモリーカード]タブで「SDメモリーカード」を「使用しない」に設定してから取り外してください。取り外したあとに「SDメモリーカード」を「使用する」に戻してください。設定メニューについては、「取扱説明書 操作・設定編」をお読みください。

MEMO ●i-PRO機器専用microSDメモリーカードの使用を推奨します。 ●本機でmicroSDメモリーカードをフォーマットしてから使用してください。フォーマットのしかたは「取扱説明書 操作・設定編」をお読みください。